

大腸癌研究会プロジェクト「卵巣転移、単径リンパ節転移の取扱い」活動報告

※2020/01/23-24 大腸癌研究会世話人会、施設代表者会議にて報告

■ プロジェクトの概要

卵巣転移、単径リンパ節転移の臨床病理学的特徴と予後、卵巣転移、単径リンパ節転移に対する外科的切除の意義、卵巣転移を腹膜転移 P2 あるいは遠隔転移と分類することの妥当性、肛門管癌における単径リンパ節転移の規約における位置づけを明らかにし、規約改定への提言を行う。

■ 研究概要

多施設後ろ向きコホート研究 参加施設: 20 施設

症例集積終了: 卵巣転移 298 例, 単径リンパ節転移 161 例

UMIN-CTR: UMIN000029371

■ 進捗状況

論文化・プロジェクト研究終了

【卵巣転移】

Clinical analysis of ovarian metastasis from colorectal cancer: a retrospective study of 296 cases (投稿準備中 静岡がんセンター)

<副次研究>

- RO 切除された卵巣転移の予後因子の解析と、同時性卵巣外転移との関連 (癌研有明病院)
- 大腸癌の卵巣転移における同時性転移と異時性転移との差異 (藤田医科大学)
- 卵巣切除後の再発因子の検討、卵巣転移を入れた新たな腹膜播種 grading (東京医科歯科大学)

【単径リンパ節転移】

Management of inguinal lymph node metastases from cancer in rectum and anal canal (投稿準備中 藤田医科大学)

<副次研究>

- 単径リンパ節転移の外科的切除症例の再発形式と危険因子 (国立がん研究センター中央病院)
- 単径リンパ節転移症例の原発部位による臨床病理学的差異 (東京医科歯科大学)